

# 皆野長瀬ロータリークラブ

## 週報

◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp  
 ◇点 鐘 山田 利明会長  
 ◇ソング 奉仕の理想



世界への  
プレゼントになろう

Be a gift to the world

第1338回例会 平成27年10月22日(木)

# ガバナー公式訪問

## 会長の時間

山田 利明

会長の時間という事で、普段考えている事を少しずつ話していますが、いろんな本を参考にしたりしている状況です。

今日は皆さんは仕事で忙しいと思いますが、それを解決する方法がないかなど。忙しいのは仕方のない事ですが、1日の中でぼうっとした時間を少し持つといいとある本に書いてありました。まず皆さんは起きて、朝食を食べながら今日は何をしなくては何と考えると思います。有意義と言うか、忙しく過ごしていると思います。そこで1日の内に15分くらいぼうっとする時間を作るといいと。どうしてかと言うと、ほとんど人が人に流されて生活を送っている人が多いので自分を見直す事がなかなか無いという事だと思います。どうするかと言うと、朝15分くらい早く起きて何も考えずに外の景色でも見ながら過ごしやすいです。そうして仕事をしなくては何と頭に浮かんでくるらしいのですが、敢えてぼうっとしていると。そうすると風が吹いて葉のそよそよした音が聞こえたり、虫の音が聞こえたり、朝日がきれいだなとか、自然に自分が溶け込んだような気持ちになるようです。そして自分というものが発見出来ると。ほとんど時間に追われて動いているので、そういう時間を持つと自然に生かされているという事で、普段の小さい事などは大した事ではないと。仕事は大事ですが、自然の大きさに比べると大した事はないと思えるようになるそうです。そうすると良い人生、良い人間が見えてくるそうです。もう1つは、時間に余裕がないと心まで余裕を無くしますと。忙しいという字はりっしんべんに亡くすと書きます。りっしんべんは人間の心を表し、人間が心を亡くすと忙しいと。心が無いのが忙しい状況であると。さっきのぼうっとした時間を持つのと併せてやってみるといいと思います。朝



15分ほど早く起きて、コーヒーを飲むのにも豆をゆっくり手で挽いて、手間を掛けてゆっくり飲むと。そうすると「すうーっ」としてくと。呼吸も4秒くらい鼻から吸って、8秒くらい掛けてお腹の底から口をすぼめて吐くと、酸素が頭にまわっていい気持ちになると。そうすると1日、ゆっくり考えながら良い仕事が出来ると。息を吐くと言ったのは、人間は普段の呼吸で肺を全部使ってないらしいです。全部吐くと全部肺が使えるそうで、酸素供給量が良くなって、頭もすっきりするそうです。皆さんもやってみたらどうでしょうか。あまり忙しいと人生を無くしてしまうので、たまには自分にかえてゆっくり過ごしたらどうでしょうか。

## 幹事報告

宮前 英雄

- 地区事務所より
  - RI理事指名について
  - 世界遺産キャラバン受け入れのお願い
  - 学友会ニュース
  - 日豪青年相互訪問団員募集の案内
  - ロータリーデークラブ名入り幟・エンドポリオポスター
- 米山記念奨学部門委員長より卓話者のお知らせ
- 米山記念奨学会より
  - 特別寄付金明細書 長岡 倉雄会員
  - ハイライトよねやま



米山功労者 11回

長岡 倉雄会員

# ガバナー卓話

第2570地区

ガバナー 高柳 育行様



皆さん、こんばんは。久しぶりに皆野・長瀬クラブを訪問させて頂きました。公式訪問という事で先ほど山田会長さん、宮前幹事さん、横田SAさん、大半は山田さんのお話で終わったのですが。会長の時間はいやに

早かったですね。さっき全部お話をしてしまったのかなど。私は公式訪問で卓話をする事でお邪魔致しました。山田会長さんからいろいろな事を教えて頂いて、私の方がいっぱいプレゼントを頂いた感じです。多分5人で過ごしている間の8割から9割くらいは会長さんのお話であったかなと思うのですが。新井剛太郎さんにも暫くぶりにお会い出来ました。私がガバナー補佐だった時にIMでパネリストとして登場して頂きました。堂のお話をさせて頂きました。その後、私の職業に関わる部分での誤嚥性肺炎のお話。また新しい施設も造られ、その施設でプラネタリウムを考えたというお話も聞きました。パネリストとして登場して頂いた時もそうですが、相変わらず新しい物に感心を持つ。また将来を見据えた取り組みをされている。いい加減にやっているのではなく、いろいろ考えてやっているという話も聞き、改めてすごいなと思った次第です。いろいろな縁があって出来る事だと思いますので、そういう意味では多少人数は少ないのですがお互いの関係が密で上辺だけの付き合いではなく、お互いをよく知って、そしてお互いの事を思って支え合っているという感じを受けました。8月15日でしたか、皆野で行われました秩父音頭まつりに米山の学生が来られるという事でお伺い致しました。私も目立つようになり、ロータリーマークが背中に入ったはっぴを着て皆野町の中を歩いていたものですから何人かの人に声を掛けて頂きました。長岡さんにも声を掛けて頂きました。あれだけの町にあれだけの人が来て、素晴らしいお祭りだなと思いました。高田さんの所には毎年来ていたのですが、今年は忙しくて来る事が出来ませんでした。気付いた時にはぶどうの時期が過ぎてしまいました。毎年8月から9月の頭に掛けてお葉書を頂いたりするものですからお伺いしているのですが、美味しくぶどうを頂いておりましたが、今年はガバナーという事で忙しくお邪魔する事が出来ませんでした。本当に皆さんに縁がある、そういうクラブだなと思っております。

山田会長さんが「自己を高め地域に貢献しよう」というテーマを掲げられています。良いテーマだなと思います。そしてそれを実践されているという感じを受けました。会員の良い事、特技、勉強になる事を発掘してクラブの向上を図るという事で、会長さん自ら勉強熱心で、今日は控えて会長の時間を短くされたのだと思い

ます。いつもだったら会長の時間にはもっとたくさん話をされて、皆さんにとっては例会に出ていい話が聞けたなという例会を開いて頂いているのではないかと思います。2番目に地域の人材を発掘し、会員勧誘の行動を実践行動しようとして書いてあります。これが先ほどは私がちょっと話した所ですが、10分の1くらいガバナーとしてお話をしましたが、難しいところなのだろうと。本庄という所は観光資源がありません。こちらは埼玉県を代表する観光名所です。それに付随したお店だとかあると思いますので、そういう所の方をメンバーとして迎えられないのでしょうかという話をさせて頂きました。高田さんの所はライン下りの船を下りて上がってくる所のいい場所にお店があります。お伺いする時にはマイクロバスがいっぱい通っている所です。この前は取材に芸能人が来られた話もお伺いしました。これだけの会員の中に素晴らしい方がたくさんいて、良いクラブだなと。今日SAをされている横田さんが最後にちょっと写真の話がされました。会長さんの話が長くて、横田さんに一生懸命お話して頂いたのですが、時間がなくなり、カットになってしまいました。私も写真を撮る趣味があるのですが、最近はなかなか行けなくなりました。私と違って素晴らしいのは、山登りをされるんですね。私の写真は車で行って、すぐ撮れる所で写真を撮ります。本庄辺りからですと、館林の先に渡良瀬遊水池があります。ここが写真を撮る人が結構行く場所です。本庄からですと、飛ばして行くと1時間弱で行けます。ガスが出ると向こう側の鉄塔が消えるのですが、晴れると鉄塔だらけです。ガスが出るか出ないかにかかっているのですが、朝出る時には、きっと「今日は」と思って行くのですが、ちょっと出遅れると干上がって来てしまうので、冬場であっても遅くても5時前に出なくてははいけません。1日で駄目だと次の、また次の日と行くわけです。写真を撮って帰って来ると朝ご飯で、食べて診療をして。また次の日に撮れないと、また次の日と行きます。横田さんは山登りですから、もっと素晴らしい写真が撮れているのだらうと思います。機会があればぜひ見せて頂きたいと思っております。

今日ロータリーデーの幟を貼って頂きました。ありがとうございます。今年度各クラブの支援を少しでもしようという事で、自分のクラブで幟を作るのは大変だと思いますが、地区でまとめて作れば格安で出来るだろうという事で、下に各クラブのクラブ名を入れた幟旗を2つずつお送り致しました。今日は地区大会記念チャリティーゴルフコンペでした。そこに本庄ロータリーの幟旗を掲げさせて頂きました。併せて言うと、ポリオ撲滅をテーマにゴルフを開催させて頂きました。参加者には赤字でエンドポリオと入っているTシャツをお配り致しました。明日10月23日が世界ポリオデーとなっております。ニューヨークでユニセフとロータリーでイベントをされるという事で、前後に地区であるいはクラブで世界ポリオデーに因んだイベントをして下さいというのがロータリーの友10月号に掲載されていたと思います。我が地区としては、それに因んだ催しとして本日のチャリ

ティーゴルフをポリオデーに合わせたイベントとさせて頂いて、皆様にはそのようなTシャツをお配り致しました。ポスターもお配りさせて頂きました。ぜひクラブで地域で何かをされる時にこの幟を掲げて頂きたいと思っております。ロータリーをまず地域の方々に知って頂く。小さいですが、皆野・長瀬ロータリークラブと入っておりますので、アピールする時に使って頂きたいと思っております。

最近のロータリーに関するニュースを皆さんにお伝えしたいと思っております。ロータリーが最優先に取り組んでおりますポリオ撲滅ですが、8月にナイジェリアでの野生型ポリオウィルスが1年間無かったという事が報告されました。これまでアフリカではナイジェリアだけでしたので、ナイジェリアでポリオ撲滅が達成しますと、アフリカでのポリオ撲滅が達成出来るという事です。3年間発生が無いと、ポリオフリーとWHOで発表する事になっております。このままもう少し経過致しますと、アフリカでのポリオフリーになるかなと思っております。まだアフガニスタン、パキスタンの2ヶ国ではポリの発症があるという事で、ご理解、ご協力を頂ければと思っております。

今年度ロータリーグローバルリワードという事を会員向けの特典として設けました。今日インターネットで調べますと、264、ホテルであったり、レストランであったり、航空会社であったり、レンタカーの会社であったり、皆さんがお使いになると一般の方より少しサービスして頂けるという事です。あまり日本人向けではないようです。マイロータリーというホームページを見て頂きますと、ロータリーグローバルリワードが最新情報で出ているので、お話をさせて頂きます。サービスを受けられる国がアメリカ、カナダ、多少日本でもあるのかもしれませんが、ホテルではホリデーインとか挙がっているのですが、実際に日本のホリデーインで使えるかどうか確認しきれていません。お店であったり、ホテル、レストラン、中にはアメリカだけカナダだけという物が入っております。日本人向けではないんだらうなど。こういったものが果たして良いのかどうかという議論もされておりますので、頭の隅に置いて頂く程度でよろしいかなと思っております。それから2017年7月からイアン・ライズリーという方がRI会長になられるという事が11月1日付けで発表されましたので、報告させて頂きます。

地区に関しましては、財団の関係で地区補助金奨学候補生とグローバル補助金奨学候補生1人ずつ2名を選考致しまして、オリエンテーションを受けて頂いております。来年夏前には候補生から奨学生になれる事を目指しております。そういった子供達がいるという事、もう1つはアフリカにブルキナファソという国がありますが、西アフリカと言われておりますが、ブルキナファソという所は大変識字率が低いんです。成人の識字率が25%弱、女性の識字率は1部の場所に限定されている面はありますが、20%を切っているような状態です。識字率とは読み書きが出来る人ですが、出来る人が4人1人を切ってしまう、女性で言えば5人に1人

以下という事です。日本を考えた時に、真面目に学校に行かなくて多少劣っている子供がいる。障害があって出来ない子もいるかもしれませんが、普通の人であれば、そういった方はほとんどいない国だと思っております。ブルキナファソは25%以下であります。いろいろな面で劣ってしまい、貧困もひどい状況です。そういった国にグローバル補助金を使って人道的支援をしようと取り組んでおります。今日随行して頂いている地区幹事の茂木さんに手続きをやって頂いております。茂木さんの所にくるメールが私の所にも来ます。英文で来ます。この間はグリーンのマーカーのようなものが付いていて、この事について回答下さい。私は英語がよく分かりませんので、茂木さんが地区の財団を代表してやってくれています。近い内に申請が通って実施出来るのではないかと期待しております。そういった取り組みを地区としてしているという報告をさせて頂きます。米山の奨学生ですが1年目の学生さん、2年目の学生さん併せて18名の米山の学生のお世話をしております。長岡さんには11回目の米山に対する協力を頂きましたが、そういった方達のご寄付が米山奨学生の奨学金になっております。ご協力に感謝申しあげたいと思っております。青少年交換については今年5名を派遣致しまして、6名のオリエンテーションを行っております。財団も青少年交換の学生も女性が多いんです。青少年交換の学生6名の内5名が女性です。1人の男性は熊谷高校の学生です。財団の2人の奨学候補生は2人とも女性です。ぜひこのクラブでも近隣にこういう人がいるという事があれば、ご推薦を頂ければと思っております。外国のこういった大学で学びたい、博士を取りたいというような目標を持っている方、グローバル補助金については、6つの重点分野に関わる内容を専攻していただかないと対象にはならないという制約がありますが、ぜひ皆さんにご寄付を頂くだけでなく、学生の紹介も頂ければと思っております。あとは地区の補助金を使った事業にクラブで取り組む時には、活用頂きたいとお金を出すだけではなく、ご協力を頂いているのでそれを使う事も考えて頂けたらと思っております。

皆さん、ご存じのように今年度RI会長ラビンドランさんは世界のプレゼントになろうというテーマを掲げられたわけなんです。1月に国際協議会に行って世界のプレゼントという話を聞いた時に、世界のプレゼントという言葉がしっくりきませんでした。その後、いろいろなロータリーの友等で紹介されて皆さんもそう感じたかと思っております。私達が生まれてから自分の命だとか自分の家族、友人であったり、いろいろなものを頂いて今の自分があります。先ほど識字率の話をしてきましたが、日本で生活して学ぶ機会も与えられて、食事で困る事もほとんどないわけですが、そんな中で私達は生活が出来ているわけですが、人に助けられている中で恩返しを皆さんされていると思っております。そういった機会が無ければ誰かを助けあげる事を心がけて下さいとRI会長はおっしゃっています。そういったものを通じて、そういった心を持つ事によって世界のプレゼントになるんだという事をお話さ

れています。私も手続要覧を見ますと、ガバナーはR Iの役員の人という事です。それからしますと皆さんにR I会長が示されたテーマをご理解頂く。そしてロータリアンに世界のプレゼントになって頂くという事が私の1つの役目だと思っております。

先ほど、会長さんのお話を中心だったので、言い出しにくかったのですが、年度会長賞というのが出来ました。これはロータリークラブセントラルに報告して頂かなくてはなりません。ぜひマイロータリーからロータリークラブセントラルを開きますと、奉仕活動に何人参加したとかの目標値があります。15-16年度にぜひ載せて頂けたらと思います。公式訪問が終わって、登録出来ないクラブにはもう1度お伺いして登録の手続きをしようかなと。それをしなくて済みますように。地区内のクラブがロータリークラブセントラルに登録するのがある意味では会長賞の地区に対する賞になります。ぜひ私としては公式訪問にお伺いした時にお願いしておりますが、各クラブが100%ではなくてもいいとは思いますが、登録をするというのはある意味、自分のクラブの事を登録するというのが役割だと思っておりますが、ガバナーにとっては、自分の地区内の全てのクラブのロータリークラブセントラルに報告するというのが私に課せられた使命だと思っておりますので、お願いしております。

公式訪問も余すところ、今日を終わりますとあと4つです。来週月、火、水の3つありまして、次の週5日になりますが、本庄ロータリーの公式訪問で最後になります。ここで少しのんびり出来ればなと思っておりますが、そのためにも皆さんにご協力を頂ければと思います。

R I会長は「世界のプレゼントになろう」というテーマを掲げて2570地区では「ロータリーの心で実践しよう」というテーマを別に作ったわけですが、これはロータリーの心で実践していれば、世界の皆さんがロータリーの心で実践し頂く事で皆さんが世界のプレゼントになるんだという解釈を致しました。従ってこんなテーマを挙げたわけですが、皆さんに考えて頂きたいのですが、自分の一番身近な人は家族だと思います。日頃生活する中で、たとえば奥さんの事を思って何かをしてあげるとか、言いたい事は、家族の事を思って行動するとか、感謝の言葉をたまには言うとか。そんな事が家族へのプレゼントになるのではないかなと。ロータリーという場で考えるとクラブへのプレゼントになる。会長さんが今日は会員の3人が旅行に行ってしまうと、例会に出席してもらえないかどうか心配していましたが、こうして皆さんに来て頂けると会長さんはうれしいですね。来てくれて良かったなと思われたいと思います。忙しくても旅行に行っているにも例会に間に合うように戻って来てくれている会員がいるから例会が成り立っています。この事はクラブへのプレゼントになるという事になるのではないかと思います。クラブで行う奉仕活動であったり、もっと気楽な飲み会でも言えるのではないのでしょうか。出席しないお医者さんの家のそばのレストランで例会を開いたら先生も出て来て

くれたと。1つの方法だだと思います。人数の多いクラブでは出来ないと思いますが、このクラブでは出て来ない会員の家のそばのお店で例会を開いて、近くでやっているのだから出て来て下さいという事も出来ると思います。クラブのいろいろな催しに出て来て頂くという事でクラブへのプレゼントになるんだと。ぜひお一人、お一人の気持ち次第です。クラブのプレゼントになるかならないかは気持ち次第です。ぜひ支えて頂きたいと思っております。

先日京都大学の総長の山極先生お話をお聞きしました。人間の集団規模とコミュニケーションという事で話されました。その中で10人から15人は共鳴集団だと。スポーツのチームが試合中に詳しくお話しなくても動きだとかのちょっとした動きで相手を理解出来る。だから共鳴集団という言い方、先ほどのブルキナファソなどでも言葉が無くても一緒に生活していればある程度は理解出来ると思います。人数が多くなると、何かをする時に言葉や文字が必要になってきます。人間の集団でも10人から15人くらいであれば、お互いに理解出来る。一人、一人の事を理解して接する事が出来る。30人から50人くらいになると、それでも一致団結して行動出来る集団であると言われました。名前とか性格を熟知できる範囲が30人から50人というお話でした。100人からになるともっと薄らいでしまうと。そういった事を考えると、少ない事が悪い事ばかりでなく、お互いの良い所を見ながら助け合ったりして行ける仲間なのだろうと。良さを再認識して頂いて、良いクラブ運営して頂いて、出来れば新しい会員を迎えて頂くような状況。一人増えれば、その人から頂く素晴らしい人間性、技術、趣味であったり、接する事が出来ます。現状に甘んずること無く、いい人がいないかなと探して頂いて、一人でも会員が増える事を願って卓話とさせて頂きたいと思っております。

## ニコニコボックス

♪高柳ガバナーを歓迎致します。

山田 利明・宮前 英雄・新井剛太郎  
新井 通雄・長岡 倉御・高田 富康  
小林 一夫・畝 徳治・横田 博次

合計 9,000 円

## 出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
12	0	9	1	83.3%